

ホテル白樺荘

Hotel Shirakabasou
(長野県山ノ内町)



外観

久しぶりに志賀高原へやってきた。志賀高原は、日本で最大規模のスキーリゾートである。しかも標高が高く、雪質が良いときている。今回は1泊2日で、春の志賀高原を滑りまくる予定だ。

志賀高原でスキーをする際、どこに泊まるか。たくさんの宿があるので大変悩ましい問題である。目当てのゲレンデに近い場所か、それともシャトルバスのバス停に近い場所か、それとも温泉がある場所か、それとも食事がおいしい場所か、それとも価格がリーズナブルな場所か。人それぞれ尺度があると思うが、今回紹介するホテル白樺荘は、少なくともシャトルバスのバス停に近く、温泉がある場所であると言えるだろう。

ホテル白樺荘は、蓮池のバス停のすぐ近くにある、中規模のホテルである。部屋数は32、宿泊者数は150人を誇る。自慢は、露天風呂を備えた温泉だ。早速、その温泉を紹介しよう。

温泉は1階にある。男湯、女湯の他に、家族風呂が2室あり、空いていれば自由に使うことができる。今回紹介するのは男湯だが、家族風呂は2~3人で入浴するならちょうどよい大きさだ。尚、家族風呂は内湯のみで露天風呂はない。

男湯の脱衣室には、洗面台が3個あり、ドライヤーも完備されている。脱いだものは籠に入れる。貴重品は部屋に置いてくるか、フロントに預けておこう。

内湯は洗い場が9か所。150人収容のホテルにしては少々少ないか。シャンプー、リンス、ボディソープは完備されている。その他に高級品・馬油シャンプーや軽石もある。内湯の浴槽は定員10人くらい。適温である。サウナは定員6人くらい。温度計がないが、十分

に熱い。水風呂がない代わりに、サウナ出入り口付近にシャワーブースがある。ここで水を浴びればよいということであろうか。露天風呂は、あまり眺望は良くないが、石貼りで豪華だ。ホテルの名称にもなっている白樺の木も見える。適温だ。

ちなみに、ホテル白樺荘の湯は単純硫黄温泉で、神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、痔疾、冷え性、病後回復期、疲労回復、健康増進、慢性皮膚病、慢性婦人病、糖尿病、きりきずに効くという。

今日は、焼額、奥志賀、一瀬、東館山、寺子屋を滑った。明日は、西館山、高天ヶ原、シャイアント、横手山、渋峠、熊の湯を滑る予定だ。志賀高原はとにかく広い。へとへとになるまで滑るもよし。優雅に滑るもよし。人の数だけ楽しみ方がある。

ホテル白樺荘の湯は、スキーヤーを癒し、明日への英気を養ってくれた。日本はスキーと温泉の両方が同時に楽しめる。こんなに素晴らしいことはない。

- **名称**：ホテル白樺荘
- **所在地**：長野県下高井郡山ノ内町志賀高原運池
- **電話**：0269-34-3311
- **営業時間**：6：30～9：30、15：00～24：00（サウナは15：00～23：00）
- **定休日**：無休
- **通常入浴料**：宿泊者のみ
- **サウナ**：あり
- **サウナ内のテレビ**：なし
- **取材日**：2013年3月23日（土）
- **取材**：銭湯愛好会・東京支部